

しかおい 議会だより

第 153 号

議長新年あいさつ ②

11・1月臨時・12月定例議会 ②

11/24 議員とカフェでひとことほか ⑤

一般質問 3人の議員が問う ⑧

ぎかいトピックス ⑩



こども園発表会

撮影者 清水 浩徳

12月4日、町民ホールで認定こども園しかおいの発表会が行われ、4歳児が劇「さるかにがっせん」を演じました。

■ 2022（令和4）年1月25日発行
【E-mail】 gikai@town.shikaoi.lg.jp
【URL】 <https://www.town.shikaoi.lg.jp/>

■ 発行者 北海道鹿追町議会

2022年1月



鹿追町議会議長 吉田 稔

新年のごあいさつ

次の100年に向けて

明けましておめでとうございます。

令和4年の輝かしい年を迎え、町民の皆さまにおかれましては、心も新たにお過ごしのことと拝察申し上げます。

さて、私たちの生活や社会経済は一昨年からのコロナ禍により、大きな影響を受けました。

現在も新種のウイルスが出現する等、情勢は予断を許さない状況にあります。

平穏なる日々を一日も早く取り戻していくため、継続して国や自治体、そして全住民が一丸となってその対策に取り組んでいかなければなりません。

今、日本では少子高齢化や人口減少等、課題が山積しており、次世代が生き生き

と暮らしていけるよう、解決に向け取り組んでいく必要があります。

鹿追町では開町100年の時を超え、未来に向かって前進していくため、農業、商工業や観光事業等、産業基盤の充実や社会変化に対応した魅力ある施策の展開が求められます。

いつまでも皆が笑って安心して暮らせる町を目指し、私たち議会も多くの声を町政に反映すべく活動をしていく所存であります。

結びに町民皆さまにおかれましては、健康で素晴らしい年になりますことをご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。



子育て世帯への

臨時特別給付金等を可決

11月臨時議会、12月定例議会及び1月臨時議会において、議員報酬、特別職及び職員の給与と条例等の改正7件、補正予算14件、財産取得2件、規約改正1件、陸上自衛隊鹿追駐屯地に関する決議1件、請願1件、意見書2件を原案どおり可決した。
一般会計の予算総額は、5億2411万円を増額補正し、74億6497万円とした。

11月臨時議会

条例改正

- 議会議員報酬及び費用弁償等に関する条例
- 特別職の職員の給与に関する条例
- 職員給与に関する条例
- 令和3年人事院勧告に基づく国家公務員の給与と改定に準じて、議会議員、特別職・一般職の期末手当(ボーナス)のうち、0.15カ月分を引き下げた。
- 引き下げ後の期末手当年間500円。
- 期間は令和3年12月18日から令和4年3月31日とし、予算の範囲内で終了する。
- 然別湖畔誘客促進事業「観光」×「交通」×「環境」200万円
- 路線バスに乗りして然別湖畔で下車した利用者に、しかりべつ湖コタン及び然別湖畔のホテルやカフェ等で利用できるクーポン券を、1人当たり大人3千円、子ども1500円を贈呈する。
- 期間は、しかりべつ湖コタン開村中の令和4年1月29日から3月13日までとし、予算の範囲内で終了する。
- 防災備品購入 176万円
- 簡易トイレ、段ボールベッド、生理用品等の防災用消耗品を購入する。
- 消防団感染症防止屋外仮設拠点整備ほか 112万円
- 屋外仮設活動拠点構築のためテント、ポータブル電源等を全消防団に配備する。
- また、消防職員の防寒衣を更新する。

決議

○ 陸上自衛隊鹿追駐屯地における改編及び新編等についての決議
防衛計画の大綱及び中期防衛力整備計画において、部隊組織の編成や戦車の現状(平成30年度末定数)約600両から、将来規模を約300両とすることが定められている。
鹿追駐屯地は、第5戦車大隊の1個中隊削減と、第5施設隊の1個中隊新編が行われる。
これに伴い、鹿追駐屯地の定員を約340人から約330人に変更することである。
定員の減少は本町にとって



陸上自衛隊鹿追駐屯地

12月定例議会

新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス緊急経済対策事業費は、総額2億3455万円となった。

主な補正予算

一般会計

○ 子育て世帯への臨時特別給付金 4465万円
子育て世帯を応援するため、令和3年9月分の児童手当受給者、高校生等及び令和4年3月31日までに出生した新生児の児童手当受給者に対し、臨時特別給金として10万円を給付する。
令和3年12月27日に給付済みだが、養育者が公務員等の場合は令和4年1月、新生児の場合は出生後に給付する。



冬の体験事業の一例(犬ぞり)



設営中のしかりべつ湖コタン 2021 (R3.1.23)



鹿追町お知らせアプリ「ミジカ」防災しかおいの放送内容等が閲覧可能

○ 固定資産税減収分補てん 1392万円
新型コロナウイルス感染症の影響により収入減となった事業者の固定資産税の減免分を、国の特別交付金で補てんする。
○ 情報配信サービス導入 32万円
Jアラート(全国瞬時警報システム)の情報を、お知らせアプリ「ミジカ」へ配信する。

○季節性インフルエンザ予防接種助成 532万円

インフルエンザ感染を防止するため、生後6カ月以上高校3年生以下、65歳以上、妊娠中等の町民が町内医療機関でのワクチン接種を無料とする。

○町民ホール動画配信モニター 223万円



町民ホールのストニブレインホール

○ピュアモルトクラブハウスWiFi機器 40万円

○畑作構造転換事業補助金 167万円

農業の機械購入による対象事業が1件追加されたことから補正する。全額が北海道の補助金の交付対象となる。



真空播種機 (イメージ)

○北京2022オリンピック出場選手を応援する会補助金 222万円

鹿追町出身でスピードスケートの松井大和選手を応援する「北京2022オリンピック出場選手を応援する会」が設立されたことに伴い、活動を支援するため補助金を交付する。

【簡易水道・下水道会計】

○簡易水道・下水道特別会計料金減免措置 280万円

新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けている宿泊業者に対し、事業継続を支援するため、水道使用料及び下水道使用料を減免する。

令和3年4月～10月の6カ月間で連続する3カ月間の売り上げが、令和元年同期と比較して60%以上減少した場合、減免する。

その他議決事項

新規条例

○教育支援センター条例

旧教職員住宅(東町4丁目4番地2)を改装し、教育支援センター「ひなたぼっこ」として条例を整備し使用する。

不登校等の児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のため、指導員が学校との連携により相談・指導(学習指導を含む)を行う。

1月臨時議会

新型コロナウイルス対策

主な補正予算

○住民税非課税世帯等への臨時給付金 6230万円

令和3年度分で世帯全員の住民税非課税世帯、及び新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し住民税非課税世帯と同様の事情にある世帯(家計急変世帯)へ、1世帯当たり10万円を給付する。

住民税非課税世帯への給付は令和4年3月31日までを予定している。

また、家計急変世帯は申請が令和4年9月30日まで、給付は12月31日までを予定している。

○牛乳券配布 299万円

生乳や乳製品の消費が低迷しており、牛乳消費拡大のため、町内全世帯へ、1世帯あたり千円分の牛乳券を配布する。

J A 鹿追町が事業費の50%、149万円を負担する。



完成した教育支援センター「ひなたぼっこ」

○子ども医療費の助成に関する条例

○重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費助成に関する条例

住民の利便性向上のため、マイナンバーカードを健康保険証として利用し、医療機関等で被保険者証資格をオンラインで確認可能とする改正を行なった。



乳製品消費拡大にご協力を

主な質疑

〔12月定例議会 一般会計補正予算〕

〔山口優子議員〕

Q しっかりべつ湖コタンで、協賛金1人500円(町民以外)を今年度から導入するが、町内に泊まろう！宿泊者感謝クーポン贈呈事業で贈られる、商工共栄会の商品券で支払い可能か。

協賛金は入場料と異なり支払いの強制力は無く、来場者からクレームの可能性があるので、会場入り口に、協賛金に関する看板は設置するか。しっかりべつ湖コタンの収支状況は。

規約変更

○十勝圏複合事務組合規約 十勝管内の1市12町2村によるごみ処理施設及び最終処分場の設置、維持管理、運営に関する共同事務に、令和4年4月1日から幕別町忠類地区を加える改正を行なった。

請願・意見書

○燃油等の価格高騰対策に関する請願・意見書

鹿追町農民団体連絡協議会(武藤敦則会長)からの請願を採択し、国に意見書を提出した。食料の安定供給と農業の持続的発展を図るため、軽油や重油等の価格高騰対策や、各種生産資材や農業用施設の農家負担軽減を図る対策を国に求める。

○地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書

海水温上昇に伴う被害、飲食店主自主規制により魚価安の影響を受けている水産漁業関連、地域経済に対し、緊急の経済支援策を行うことを国に求める。

主な補正予算

〔一般会計〕

○燃料費 399万円

燃料費高騰を受け、各公共施設の暖房用灯油、重油及び公用車のガソリン、軽油に係る燃料費を増額した。

○帯広厚生病院運営費補助金 332万円

救命救急等の不採算事業における赤字分について、十勝管内市町村で補助する。補助総額は限度額上限の3億円で、このうち30%、9千万円を十勝管内町村で補助する。

○経営継承・発展支援事業補助金 495万円

令和2年1月1日以降に経営継承した農家で、法人化等の経営発展に係る取り組みを満たし、補助対象となる機械購入等の経費に対し、最大100万円を補助する。当初から5件追加し、計8件、予算総額は995万円とした。

議員とカフェでひとことを開催

令和3年11月24日、国際交流センター平成館で、まちなか会議議員とカフェでひとことを開催、3人が参加し、議長を含む3議員と懇談した。スマートフォンの使い方講習、デジタル化推進、旧幼稚園の活用、産業実習生と農家の契約等の意見交換し、有意義な時間となった。



議員とカフェでひとこと (R3.11.24)

つぶやき ■核戦争回避のため、核保有国5カ国が共同声明を発表。世界には10万3000発を超える核が保有されたままである。

住民と議会を結ぶ

まちなか 会議

議会報告会・広聴会 調査結果を 町長へ申し入れ



議会報告会・広聴会 鹿追会場 (R3.10.20)

令和3年10月20日、国際交流センター平成館及びウリマツクホールでまちなか会議（議会報告会・広聴会）を開催し、4人が参加した。

意見については総務文教及び産業厚生常任委員会で検討し、次のとおり11月22日に町長へ申し入れた。

【地域保育所の休閑所及び小学校の適正規模配置計画】

人口減少問題で、令和12年（2030年）には15歳未満が120人くらい減少するデータもある。

瓜幕小学校は児童40人だが、地元の児童は少ない。将来の方向性は、

町の財政も考える必要があるのでは。

町民が興味を持つている事業であり、周知を充分に行なっている。

【調査結果】

子育て支援課及び学校教育課では、地域保育所、小規模学校の児童生徒の推移を含め、すでに地域住民とあり方の協議を始めている。

これらの意向等を踏まえ、教育委員会、町理事者と方向性を生み出したい。

【議会見解】

現状及び今後の推移を地域住民に説明し、協議をしながら進めてほしい。



笹川保育所 令和4年3月末で閉所予定

【瓜幕地域自然体験留学センター（居室）の感染対策】

留学センターでは、2人部屋となっている。

新型コロナウイルス感染症が発症した場合、不安がある。隔離する場所もなく、センターでは対応できない。

【調査結果】

センター内での感染対策は施しているが、居室においては

2人部屋となっている現状を踏まえ、体調が悪い際には客間を使用しているが、複数の場合は空き公営住宅の活用等、検討したい。

【議会見解】

新型コロナウイルス感染症が発症した場合は、保健所の対応となるが、感染拡大を防ぐためにも、対策マニュアル等も策定が急がれる。

留学センターの改築に向け、検討を進めてほしい。



瓜幕地域自然体験留学センターの談話室

【チョウザメ及びマンゴー事業の現状及び将来計画等の公表】



収穫間近のマンゴー

状、経費、将来計画等の状況が町民には見えてこない。ホームページで公表してほしい。チョウザメの生育状況も動画で配信してほしい。

【調査結果】

これらの事業については、広報紙に載せているが、ホームページでの公表は検討したい。

【議会見解】

町民が興味を持つている事業であり、周知を充分に行なっている。

具体的な数値や生育状況を分かりやすく画像や動画も活用して、発信してほしい。

【国交省指定のナショナルサイクルルートに「トカプチ400」指定に伴う鹿追町の独自ルートや関連観光事業】

(1) 芽室町で地域おこし協力隊がNPO法人を設立し、サイクルツーリズムでツアーを組んだりしている。

鹿追町でもトカプチ400の他に、食事等も楽しめる独自コースを設定し、町内観光を盛り上げてほしい。

(2) 一般質問で、冬のしかりべつ湖コタンでスノーモービルを使用していると指摘しているが、今後ゼロカーボンに合わせ、化石燃料を使う観光事業の制約を行うのか。

(2) 化石燃料を使う観光事業の制約は今のところ考えていない。

【議会見解】

(1) 早急に独自ルートの計画案を作成する必要がある。

「トカプチ400」に付随し、観光等に寄与できるルートづくりを進めてほしい。

(2) 一般質問では、化石燃料を使う観光事業の制約を求めたものではなく、ゼロカーボンで地球環境に優しい事業として、自転車の活用を推進すべきと考える。「トカプチ400」で注目されている自転車の一つである、ファットバイクを雪上で活用することを提案した。

【町内の公園の樹木に名板等の設置について】

町内の公園には色々な木が植えられている。

子どものためにも木の名前の看板を付けて活用してほしい。

【調査結果】

町内に公園が20カ所あるが、農芸公園には名板は付いていない。

主要公園について、名板の設置を検討したい。

【議会見解】

樹木の名前や種類の表示は、教育的観点からも有効である。早急に進めてほしい。



トカプチ400のルート上にある然別湖



中央公園の樹木



大正大 江藤教授（写真右端）による聞き取り調査 (R3.11.18)

大正大 江藤教授との懇談を実施

令和3年11月18日、全国町村議会協議会による、議員報酬の見直し及び政務活動費の活用に関する研究に係る聞き取り調査のため来町した。

当日は、江藤俊昭教授（大正大学社会共生学部公共政策学科）、飯田厚氏（全国町村議会議長会議事調査部長）、寺島輝氏（北海道町村議会協議会事務局）と、全議員が懇談した。本町では、令和元年5月から議員報酬の引き上げを行なった。

調査の趣旨は、議会改革が急激に進展し、議員活動量が豊富になり、それに見合った活動や、議員のなり手不足問題のひとつに議員報酬の低いことがあることから、全国の事例を研究し提言を行う予定である。

今回の調査で、議員の職務の明確化や、議会に出席する以外も議員活動が今まで曖昧だった部分を住民にしっかりアピールし、認められることが重要とのことである。

一番の課題は、議員のなり手不足解消に向けてどう取り組むかである。

本町議会は次回改選に向けて、議員定数・報酬及びあり方等審議会（第三者審議会）からの提言もあり、議会活性化調査会において十分に審議し、第三者審議会へ議員定数について諮問できるよう方向性を見出す必要がある。

また、本町議会からはなり手不足対策等の具体的な手法について質問し、江藤教授からは女性議員の拡大や、若者にアピールしていくため、議会が率先して研修会等を開催してはと助言を受けた。

つぶやき

議員のなり手不足問題解決に、議員報酬を引き上げる町村議会が出ている。報酬引き上げと議会改革を住民に知ってもらうことが重要。



3人の議員が問う。

12月15日、12月定例議会一般質問で、3議員が登壇した。

ICT スマートフォンの効率化は行政サービスの効率化はオンライン化を具体的に検討



清水 浩徳 議員

Q スマートフォンによる行政サービスの効率化はオンライン化を具体的に検討

（答弁）喜井町長
白寿大学及び各地区の老人会が2カ月間で、合計5回81人が受講した。講座内容は、スマートフォン等の基本的な用語、使用方法、写真の撮り方等を学んだほか、鹿追町公式アプリ「ミジカ」の導入支援等も行なった。

（質問）
鹿追町は、通信事業の「ヒグマ」と「地域コミュニティ」活性化のためのデジタル化推進に関する連携協定を締結し、町民生活の利便性の向上を図ることを目的に「スマホよろず相談」を開催しているが、受講者団体・人数、講座内容等の状況は。

（質問）
行政サービスの効率化として、公共料金や税金の収納にQRやバーコードを使ったスマートフォン決済を導入し、住民負担の軽減を図っては。



スマホよろず相談 (R3.10.22)

（答弁）喜井町長
令和2年度から行財政改革の一環として、組織機構改革により、ICT・エネルギー担当の設置や広報広聴係に情報を一元化し、より効果的な発信に努めている。
令和5年度課税分から固定資産税と軽自動車税の納付書にQRコードを付し、電子的に納税できるように準備を進めている。
スマートフォンを活用した町税や公共料金の決済等オンライン化、行政手続きの効率化、事務処理の迅速化等、住民負担の軽減と利便性の向上を図るため検討したい。

持続可能な地域社会の構築は ゼロカーボンを町づくりの基軸とする



狩野 正雄 議員

Q 持続可能な地域社会の構築は
A ゼロカーボンを町づくりの基軸とする

（質問）
令和3年10月30日、火山博士の大野希一さんから「ジオパークで地域の魅力を考える」と題し講演があり、長崎県島原半島における、人と火山の苦難の歴史とそこに住む人々が火山地域の環境を

（質問）
ゼロカーボンシティの今後の取り組みやスケジュール、町民に何を求め、どのような行動をすべきか。



ゼロカーボンシティ宣言をする喜井町長 (R3.3.12)

（答弁）喜井町長
本町では、現在「持続可能な開発目標」をまちづくりの基軸に据えて取り組んでいる。ゼロカーボンシティの取り組みとして、バイオガスパラントの有効活用、自管線ネットワークによる電気、地産地消、脱炭素に対する意識啓発を進めている。
令和3年10月には町内各団体と町民で構成する協議会を設置し、幅広く意見集約し、今後の取り組みやスケジュール、町民の役割等を示したい。
太陽光等の再生可能エネルギーの活用や、省エネ家電製品の買い替え助成制度を検討している。

第7期総合計画の進捗管理の方法は 改善を図っていききたい



山口 優子 議員

Q 第7期総合計画の進捗管理の方法は
A 改善を図っていききたい

（答弁）喜井町長
事業評価は総合計画の基本計画内に位置付けた3つの重点プロジェクトで示す24の基本計画を評価の対象とし、各課ごとにPDCAサイクルシートにより評価を行い、ホームページで公開している。全ての事業を達成率等の数値で客観的に評価するのは非常に難しいが、今後研究しながら町民にわかりやすく理解してもらえよう改善を図りたい。

（質問）
総合計画は、町の最上位計画であり、町民にのみ具合や達成状況等について分かりやすく公表することが求められている。
第7期鹿追町総合計画重点プロジェクト評価調書において、24事業のうち

（質問）
事業評価は、事業の見直しにつなげる他、次の予算編成に活用してこそPDCAサイクルが成立



まちづくりワークショップで町民が第7期総合計画の内容を検討 (R1.8.20)

し実効性が高まると思う。事業評価には課長だけでなく全ての役場職員に参画してほしい。
（答弁）喜井町長
予算編成への活用や、町民との意見交換も検討していきたい。

まちなか会議 議員と

入場無料

カフェでひとこと

令和4年2月22日(火) 11:00より

※今回から、予約不要です。ただし、新型コロナウイルスの感染状況により、変更する場合があります。
※当日は検温及びマスクを着用してご来場ください。
※国・北海道の緊急事態宣言により、延期または中止する場合があります。

加納 茂 議員、上嶋 和志 議員

が平成館でお待ちしています。

吉田稔議長が
北海道社会貢献賞を受賞

表彰状

受賞を喜井町長へ報告 (R3.12.9)

吉田稔議長が令和3年度の北海道社会貢献賞(自治功労者)を受賞した。
令和3年12月8日、札幌市において鈴木直道知事から表彰状の贈呈が行われた。
この賞は長年にわたり地域の発展と地方自治の振興に貢献した功労者に対し授与されるものである。
吉田議長は、議会議員に平成7年初当選し、現在7期目となる。
これまで、議会運営委員長を平成15年から平成31年まで4期16年間歴任し、議長を令和元年から務めている。



一般質問を傍聴した
産業研修生
もりやす しほ
守安 詩穂 さん



一般質問を傍聴中 (2列目以降)



産業研修生と鹿追高校生が 一般質問を傍聴

令和3年12月15日に定例議会一般質問が行われ、産業研修生5人と鹿追高校2年生26人が傍聴しました。
産業研修生は、岡山県や東京都等から酪農の実習に来ており、当日は全体研修の一環としてまちづくりを勉強するため訪れました。
鹿追高校生は、令和4年2月7日に高校生議会の開催が予定されており、事前研修として傍聴しました。

最初は難しいと思って聞いていましたが、議員各位が前向きに町側と話し合う様子を見て、それが誰かを救うためになると思うと、関心が持てました。
このような機会をいただき、普段生活しているだけでは感じられない知識も得ることができ、貴重な体験になりました。ありがとうございました。

(取材・インタビュー 台蔵征一)



教育支援センター
みよし のりこ
三好 紀子 指導員



教育支援センター内部

児童・生徒に寄り添う 教育支援センター「ひなたぼっこ」 開設

令和3年12月に、教育支援センター「ひなたぼっこ」が開設され、それに先立ち議会でも内覧を実施しました。
「ひなたぼっこ」は、さまざまな理由で学校へ行っていない鹿追町内の児童生徒で、本人が希望し、保護者及び校長から申請があるお子さん(小・中・高校)に通っていた教育支援センターです。
開設日は、毎週月曜から金曜日の9時から12時30分までで、状況に応じて変更可能です。
また、「ひなたぼっこ」へ来るには、スクールバスや患者輸送バスも利用可能です。
少しでも子どもの側に立ち、子どもの気持ちに寄り添い、状況やニーズに応じて「ひなたぼっこ」でできることを考え、応援できたら・・・と思っています。
保護者・先生方と連携を大切に始めてまいります。微力ではありますが、よろしくお願いたします。

(取材・インタビュー 清水浩徳)

編集後記

新型コロナウイルス感染症が初めて確認されてから2年が過ぎました。まだまだ社会活動、経済活動とも安心して元には戻れませんが、行動制限を受けた中でも行政及び議会活動は進んでいます。
町民の皆様も今年は各種団体の活動や地域活動をできるところから進めて、少しずつ不安を取り除いていきましょう。

議会広報部会 部会長 台蔵 征一

議会広報広聴常任委員会 広報部会

- 部会長 台蔵 征一
- 副部会長 清水 浩徳
- 部会員 安藤 幹夫
- 川染 洋
- 山口 優子